

第2回にかほ市地域公共交通活性化協議会

会 議 録

(午後1時29分開会)

<p>事務局 (佐藤まちづく り推進課長)</p>	<p>皆様お疲れ様でございます。定刻の前ではありますけれども予定されている皆さんがお揃いですので、ただ今から平成30年度第2回にかほ市地域公共交通活性化協議会を開会致します。</p> <p>はじめに委員の出欠状況であります。1ページの委員出欠名簿27番のにかほ市商工観光部長の佐藤が本日、急用のため欠席となりましたので、×印をお願いします。出欠欄に記載のように、本日都合により欠席となっております方が、商工観光部長を含め5名となっております。同じく代理出席されております方が5名ということでの出席をいただいております。</p> <p>それでは開会にあたりまして会長でありますにかほ市副市長がご挨拶申し上げます。</p>
<p>本田会長</p>	<p>にかほ市副市長の本田でございます。</p> <p>本日は年度末のお忙しいところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃から本市、市政の推進に対し、とりわけ交通行政につきまして、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、平成30年度のにかほ市公共交通事業を振り返りますと、5月には「にかほ市公共交通マップ」を配付し、7月からの新路線の周知に努めてまいりました。新路線の運行が始まった7月から市内在住の小中学生、75歳以上高齢者、障がい者、運転免許返納者を対象としましたコミュニティバスの無料乗車事業も行い、交通弱者の方がより一層利用しやすい交通手段として定着してきております。</p> <p>また、コミュニティバス以外につきましては、羽後交通様で運行しております路線バス小砂川線で、コミュニティバスと同等の運賃で利用できる「200円乗車券」を販売し、小砂川線利用者からは大変喜ばれております。</p> <p>しかしながら、少子高齢化・人口減少が進む中において、公共交通の利用者も減少しており、バス路線の維持や代替輸送手段を支えてきている市当局の財政もなかなか厳しい現状でございます。</p> <p>更に昨今、新聞等で取り上げられておりますのが、基準以上のアルコール数値で運転していた飛行機や船舶の事件がありますが、言う間でもなく、公共交通に限ったことではありませんが、一番大切なことは安全と安心です。事業者の皆様からは事故の無い取り組みを切にお願いしたいと思っております。</p>

	<p>今日の議題は、今年度に行っております事業についての報告が主な内容となりますが、なお一層の充実・強化を図るため、忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、本日はどうぞ皆様よろしくお願いいたします。</p>
事務局(佐藤まちづくり推進課長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>これからは議事の審議となりますけれども、進行につきましては規約第9条第1項の規定により会長が議長となりますので、会長より進行をお願い致します。</p>
本田会長	<p>規約にしたがいまして、私が議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>これより議事の審議に入りますが、はじめに、本日会議に出席いただいた委員は24名で、出席委員は過半数に達しておりますので、規約第9条第2項により、会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、報告第1号「新路線の運行状況について」事務局の説明をお願いいたします。</p>
事務局(まちづくり推進課越川主査)	事務局説明
本田会長	<p>事務局からの説明がありました。</p> <p>何かご質問やご意見等ございますでしょうか。</p>
三島委員	<p>上郷長岡線、上郷小滝線の小学生の分を除いた、一般の院内小出線のように比較した場合は何%ぐらいになるのか影響を教えてください。</p>
事務局(まちづくり推進課越川主査)	<p>すぐに回答できる数字はありませんが、旧上郷小学校に通っていた小学生が約40人で、全員が登下校にコミュニティバスを利用するわけではありませんので、約30人の生徒が1ヶ月に20日利用したとして、単純計算しますと1ヶ月に600人、一年間で7200人程度の減少に、利用している児童の人数にもよりますが影響することになります。</p>
本田会長	<p>よろしいでしょうか。事務局の方では、今後も上郷線に限らず影響についての調査をお願いしたいと思います。</p>
本田会長	<p>他に何かご意見等ございませんでしょうか。</p>
委員	(無しの声)
本田会長	<p>それでは、報告第1号に対します、ご質問、ご意見が無いようですので、次に、報告第2号「地域公共交通確保維持改善計画の一次評価について」について事務局の説明をお願いいたします。</p>
事務局(まちづくり推進課越川主査)	事務局説明

本田会長	<p>それでは、ただ今、事務局からの説明がありました件について、何かご質問やご意見等ございますでしょうか。</p> <p>補足していただきたい点がありますが、事業概要の①②③の数字については、各路線の中の便を特定しているということによろしいでしょうか。</p>
事務局(まちづくり推進課越川主査)	<p>便の中でも停まるバス停が同じであれば、運行時間が違っていても同じ系統ということになります。便ごとというわけではなく、コースといえますか経路するバス停で系統が分かれております。</p>
本田会長	<p>何かご意見、ご質問等ございましたらお願い致します。</p>
齊藤副会長	<p>補助対象外というのは、どういうことなのか。補助金がもらえないということなのかお願いします。</p>
事務局	<p>計画に申請しました系統によって補助金の対象になるか決まるのですが、赤字になっている系統が対象で、その中でも更に基準があり、一運行当たりの乗車人数が2人以上となっています。29年度までは一運行当たり1人以上だったのですが、30年度からは2人以上と基準も上がったため対象外系統なる系統も出ておりますが、対象外となった系統は、元々の利用者も少なかったもので、前年度からギリギリのラインにはあった系統でもあります。</p>
齊藤副会長	<p>国庫補助対象外になった場合、財務的にはどうなるのか。県補助などがあるのか。</p>
事務局(まちづくり推進課越川主査)	<p>補助金については、国庫補助対象外になった場合、県補助があり、県補助のほうが基準は低いので、そちらに該当するように移したり、路線の見直しで系統を合わせたり、協議が必要になってきますが、利用者の声も聞きながら、補助金をもらいやすい系統に変えていく必要もあります。</p>
齊藤副会長	<p>補助金ありきでなければ運行していくのは難しいと思うので、運行率を上げるような考えを出しながらやっていければと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。</p>
本田会長	<p>他にご意見等ございますでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>補助金対象は3路線でしょうか。</p>
事務局(まちづくり推進課越川主査)	<p>大竹線、上郷・長岡線、上郷・小滝線の3路線です。</p>
本田会長	<p>他に何かございませんででしょうか。</p>
保坂委員	<p>乗っていただく方が出てこない補助金ももらえないということになりますので、今後の改善点にありましたが、利用者アンケートにつきましても、どういうことをすることによって乗っていただけるかわかるようなアンケートにしていっていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
本田会長	<p>他に何かございませんででしょうか。</p>
委員	<p>(無しの声)</p>
本田会長	<p>他に無いようですので、報告第2号「地域公共交通確保維持改善計</p>

	<p>画の一次評価について」については以上とさせていただきます。</p> <p>次に、報告第3号「超神ネイガーと学ぶバスの乗り方教室」について事務局の説明をお願いいたします。</p>
事務局(まちづくり推進課越川主査)	事務局説明
本田会長	<p>それでは、事務局からの説明がありました、報告第3号について、ご質問やご意見などありましたら、お願いいたします。</p>
委員	(無しの声)
本田会長	<p>他に無いようですので、報告第3号「超神ネイガーと学ぶバスの乗り方教室」の報告については以上とさせていただきます。</p> <p>本日の議事、報告事項につきましては全て終了しました。</p> <p>次に「その他」となりますが、せっかくお集まりいただいた機会ですので、公共交通事業者の皆様から、最近の状況や話題などありましたら、ご紹介いただきたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>突然ではございますが、羽後交通様からお願いします。</p>
平元委員(羽後交通)	<p>羽後交通の平元と申します。私の方から路線バスの現状と生産性向上に向けた取り組みということでお話をさせて頂きたいと思いますが、今チラシをお配りしている間に夜行高速バスのお知らせをしたいと思います。4月1日より共同運行会社がJRバス東北さんから関東バスというバス会社に代わる関係で名前が現在はドリーム鳥海号でございますけれども、今度はエクスプレス鳥海号ということで名前も新たに再出発の予定でございますのでよろしくお話ししたいと思います。</p> <p>チラシの方よろしいでしょうか。それでは、私の方から乗り合いバスの現状と国交省が進めております生産性向上に向けた取り組みということでお話をさせていただきます。当社のバス事業はマイカーの普及、人口減少、過疎化により昭和44年のピーク時と比べて乗車人員で16分の1まで減少しております。このような現状の中で当社路線の8割以上が赤字路線となっております、多くの路線で公的補助を受けて何とか維持しているのが実情でございます。国交省では、このまま推移しますと国道等を走る幹線道路でさえ維持が困難になるということから各バス事業者において生産性向上に向けた取り組みを計画し、実施し、結果を報告するように義務付けております。前にもお話ししたことがありますが、当社が行っております生産性向上に向けた取り組みをご紹介させていただきます。</p> <p>最初に新聞等にも掲載された貨客混載ということでございます。チラシの下の方に写真が2枚ございますが、これはお客様と荷物を一緒に運ぶ取り組みでございます。これをやることによってトラック事業者の人件費や経費の節減が図られます。また、バス事業者の増収になるという利点もございます。昨年2月に日本郵便さん、佐川急便さん2社で実証実験をスタートし、現在は日本郵便さんと契約を結び、</p>

	<p>継続中でございます。今後は、秋田県にも協力を頂きながら、路線を増やして参りたいと思っております。</p> <p>次に路線バスで行こうシリーズでございます。ねむの丘の写真がございましたがこちらは、当社とねむの丘がタイアップしてバスの往復乗車券と食事、入浴がセットになったパック乗車券でございます。例えば、Aコースでございますと写真のような海鮮丼とミニうどんセットは、海鮮丼が1,440円、入浴が500円ですので合わせて1,940円になるわけでございますが、それにバスの往復券が付いて2,000円で売っておりますので、バスの乗車代は実質60円ということとでかなりお得でございます。ねむの丘以外にも大内のぽぽろっこ、東由利の湯楽里、横手駅前温泉ゆうゆうプラザのプランがございますので、皆様にもぜひご利用頂きたいと思っております。ちなみにどれくらい乗っているかというお話があるかと思っておりますが、横手のゆうゆうさんはもう3年目になっておりますので、200人弱利用されております。こちらのねむの丘さんの方はまだ30人くらいですが、これを継続することによってお客様を獲得していきたいというように思っております。</p> <p>最後になりますが、高校生向けスマホ定期券というものがございます。現在東北では初ということで、全国的にも珍しい試みですけれども高校生のスマホ保有率というのが95%以上あるというところに目を付けたわけでございます。証明書や申込時の窓口の待ち時間等必要なく、いつでも、誰でも使えるという利点がございます。このスマホ定期券を買って頂きますと通常価格よりも5%引きということで大変魅力的となっております。現在は仁賀保高校、本荘高校、由利工業高校、由利高校と区間限定で発売しておりますけれども今後は各停留所で買えるようにする等、販路を広げて参りたいと思っております。今後とも一つよろしくお願い致します。ありがとうございます。</p>
<p>本田会長</p>	<p>はい、大変ありがとうございました。</p> <p>なかなか日頃接することのない情報を教えて頂き、大変興味深く見させて頂きました。せっかくの機会ですので今のご説明に何か聞いておきたいことがございましたら。</p>
<p>辻委員</p>	<p>道の駅に行くバスですけれども乗り場はどこでも良いのでしょうか。</p>
<p>平元委員（羽後交通）</p>	<p>停留所はどこでも良いのですが乗り継ぎはダメですね。例えば、1番遠い所では、本荘からここで降りてまた帰っていくと。それでも大丈夫です。</p>
<p>三島委員</p>	<p>そんなに安くして大丈夫ですか。</p>
<p>平元委員（羽後交通）</p>	<p>やはり、空気を運ぶよりはいくらかでもという感じがありますので、ぜひともご利用下さい。</p> <p>それから会長が冒頭にお話しましたが、小砂川線の200円乗車券のような取り組みは、やはり当社で補助金を頂くという感じではなく、利用者に補助をするという形ですので、利用促進に繋がり路線が</p>

	<p>維持されるということになりますので、利用者の促進に繋がる大変良い取り組み、事業かと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。</p>
<p>本田会長</p>	<p>ちなみに小砂川線の200円乗車券ですが、昨年12月から象潟郵便局と上浜郵便局でも販売しておりますので、利用者増加に繋がれば良いと思っておりますのでございます。</p> <p>それでは、以上羽後交通様からの報告でございました。</p> <p>続きまして、JR秋田支社様からよろしくどうかお願い致します。</p>
<p>笹渡委員(東日本旅客鉄道)</p>	<p>JR秋田支社総務部の笹渡と申します。今日はよろしくお願い致します。</p> <p>最近の情報、状況ということで事務局様の方から頂きましたので、いくつかご紹介させていただきます。</p> <p>まず、にかほ市に弊社の駅は、仁賀保駅、金浦駅、象潟駅、上浜駅、小砂川駅と5つございます。各駅のここ最近の乗車人員の推移を見ますと、少子高齢化というお話が先程から出ておりますが、やはり各駅とも10%まではいきませんが概ね5%~10%程度の間で減ってきているという現状でございます。弊社の統計としましては、定期のお客様と定期券以外の一般の切符を買うお客様ということで2通りの見方をしますが、いずれも定期についても定期外についてもジリジリと減っている傾向が続いているという現状でございます。</p> <p>ただ、これはにかほ市エリアに限ったことではなく、弊社秋田支社は、秋田県内ほぼ全域と青森県の津軽エリアをカバーしておりますが、どのエリアもだいたい同じような厳しい状況にあるというふうに認識しております。最近の数値として出ておりますもので、羽越線で特急いなほ号を運行しておりますが、この年末年始の期間をみたところ、運行本数等は特に変わっていないのですが、やはりこちらの方も対前年比較で4%程ご利用のお客様が減っているという現状でございます。特に普段、羽越線につきましては、風の影響を非常に受けやすい線区ということで、地域の皆様には大変ご不便とご迷惑をおかけしております。また、振替輸送、代行輸送ということで、羽後交通様はじめ、地域の交通事業者の皆様非常に助けて頂いているという現状でございます。</p> <p>こういった中でJRの方でもこれから雪が間もなく解けて春に向かうということで、春の観光シーズンに向けて様々な仕掛けを考えております。特にこちらのエリアに関しましては、3月16日には羽越雛街道網ということで、秋田駅から酒田駅まで普段、秋田駅から五能線の方に向かっている快速のリゾートしらかみ号を使い、秋田-酒田間1往復の臨時列車の運転を予定しております。</p> <p>それからこちらは非常に人気が高いのですが秋田県内でも桜の開花が1番早い勢至公園でのお花見をぜひお楽しみ頂きたいということで、4月13日に予定しておりますが同じくリゾートしらかみ号の編成を使い、秋田駅と金浦駅の間1往復ですが臨時列車での運</p>

	<p>転を予定しております。</p> <p>また、3月21日から24日まで春分の日から土日のところを利用して普段、新潟から酒田で終点となっております観光列車のきらきらうえつ号を秋田駅まで延長し、新潟方面からもお客様にもお越し頂きたいというような狙いを含んでおります。</p> <p>そういった中でJRの方では毎年3月頃、ダイヤの改正を実施しておりますが、今年も来る3月16日の土曜日、こちらの期日をもって、列車ダイヤの改正を実施致します。秋田支社エリアでは限られた車両や乗務員の運用の中で出来るだけ効率的かつ利用しやすく運行したいということでダイヤを変更しております。ただし、羽越線のかほ市エリアにつきましては列車が大きく運転区間が変わったりとか、時間が大幅にずれたりというような大きな改正の予定はございません。一部列車の微小なダイヤの修正ということになると思いますので、こちらにつきましても引き続き安定して、安心してご利用頂ける列車の運行を確保したいということで、ダイヤ設定に努めて参りますので、よろしくお願い致します。</p> <p>簡単ではございますが、以上でございます。</p>
<p>本田会長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今のご報告につきまして、何か聞いてみたいということがございましたらよろしくお願い致します。</p> <p>JRさんからは昨年の12月に上浜駅の駅舎の建て替えをして頂いております。綺麗な駅舎になっており、大変新しくなっておりますので、ぜひご乗車頂き、見て頂けたらと思います。</p> <p>何かございますでしょうか。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>上浜の駅舎が新しくなり前の駅舎も特別壊れたようには見えなかったけれどもだいぶ古くなったということで建て替えをしてもらい、本当すごく綺麗で、すごくかわいい良い駅舎ができました。それによってトイレが無いという話になり、上浜地区でもだいぶ問題になりました。それで、色々市の方に向け合って、今これから予算化するのではないかと思います。</p> <p>でも、やはりいくらJRさんであろうとも乗る人はたぶん皆お客さんではないかなと。利用人数は少なくはなっているが、列車にトイレが付いているから何とか理解してくれといっても来るまでの間に出たくなったらどうすればいいんだということなんですよ。小さくてもよいから、トイレでもあればすごく便利なんだけどもと思います。今、市の方をお願いしてなんとかやれるようになってきてはいますが、せっかくやるならトイレの1つくらいは付けて頂きたいなど。今、上浜だけではなく、どこでもそういうふうに替えた時に作りませんでは、ちょっとお客さんがおしっこでも何でもする所がなければ困るのではないかなと、そのへんちょっと考えて作って欲しいと思います。</p>
<p>笹渡委員(東日本旅客鉄道)</p>	<p>非常に厳しいご意見です。</p>
<p>本田会長</p>	<p>他に何かありませんか。</p>

<p>辻委員(にかほ市観光協会)</p>	<p>にかほ市観光協会の辻です。私の方主催で第70回の花火大会をやりましたが、今年は71回ということで市の方をお願いして、規模の大きい花火を計画しています。それに対して、できれば秋田、本荘からもお客さんを呼びたいので、にかほ市以外の人にターゲットを置いて、計画中なんですけれどもJRさんにそのへんをお願いというのは秋田の方に行けばよろしいのでしょうか。本荘に行けばよろしいのでしょうか。</p>
<p>笹渡委員(東日本旅客鉄道)</p>	<p>そうですね、情報、開催内容等頂ければ、弊社としてもどういったお手伝い出来るかといったところを検討出来るかと思えます。1番近い窓口となれば当社の駅長がいます本荘ですとか象潟駅になりますので、そちらの方に情報を頂ければ、我々秋田支社の方で色々なセクション、営業、輸送各セクションございますので、調整させて頂けると思えます。まずは駅長の方に情報を頂ければと思えます。</p>
<p>辻委員(にかほ市観光協会)</p>	<p>分かりました。</p>
<p>本田会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。 よろしいでしょうか。続きまして、象潟合同タクシー様よりご紹介頂ければと思えます。よろしくお願い致します。</p>
<p>須藤委員(象潟合同タクシー)</p>	<p>象潟合同タクシーの須藤と申します。よろしくお願ひします。 まずコミュニティバスの新路線が7月からスタートしましたが、やはり75歳以上、免許返納と無料パスを発行されたおかげで乗車率が増えてきております。ただし、やはり初めて乗車されたお客様がまだ乗り方をはっきりと分かっていないといひますか。色々うちのドライバーの方に停留所以外の所で降ろして欲しいという要望があります。その中で、交差点付近の停留所と言ひますか、交差点のちょうど角のところまで停まって欲しいですとか、線路のすぐ脇まで停まって欲しいですとか、そういった要望というものが多く言われて出てきている状態で、うちのドライバーの対応の仕方がよろしくないせいか、お客様がちよつと揉めちゃうというかそういったことがあるようです。一応まず、にかほ市さんの方にお願ひしまして、何かチラシ等をしてもらえないかという要望等は出させて頂いておりましたが、各委員の皆様方にもご理解をして頂き、地域の皆様へ伝えて頂けたらと思ひます。 簡単ではございますが以上です。</p>
<p>本田会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。今のお話ですけれども恐らく道路交通法に直接関係あるような事案でもあろうかと思ひますが、何か気づいた点とかご意見があれば。</p>
<p>辻委員</p>	<p>さっきのネイガアの乗り方教室を幼稚園児から老人クラブに変えていけば良いのではないか。その時に道路交通法も一緒にここは駐停車できませんということを教えた方が良いのではないかと思ひます。</p>
<p>齊藤副会長</p>	<p>私がこの委員になった時は、年配者でもって停留所でなくても手をあげれば乗せるというお話だったのですよ。降り方もダメなの。</p>
<p>辻委員</p>	<p>だって止めてはいけないところで止めてくれと言われても運転手</p>

	は止められない。
本田会長	<p>1番最初に申し上げたとおり、1番大切なことは安全と安心だと思いますので、危険な所で乗客から無理にお願いされても困るところは当然避けなければいけないと思います。ご負担をかけることになると思いますし、それと合わせて無料パスの確認ですとか高齢者の方、乗り降り自体に時間がかかるということで、色々とドライバーの方にご負担かけている面が多々あるかと思っています。市としてもできるだけ高齢者の方に乗り方、降り方などのPRをしていかなければなりませんし、事業者様もどうかドライバーの方にそこらへんの教育と言って良いのか分かりませんが周知して頂ければ、安全に運行できるのではないかなと思いますので、引き続きどうかよろしくお願ひしたいと思っています。</p> <p>各公共事業者様からのご紹介以上3点ということでございましたけれども他にご出席の委員の皆様から何かこういうことがありましたでも良いですし、こういう事はどうなんだろうということのをせつかくの機会ですのでご意見を。</p>
金子委員	<p>象潟婦人会ですけれどもJRさんに今年度初めてですが、観光客の皆さんが象潟に来た時に婦人会でお出迎え、おもてなしをやっていたのです。それで、2、3年前も秋田支店長さんから感謝状を頂きました。そしてついこの間1月23日も感謝状と金一封を婦人会に頂きまして、先程3月16日羽越雛街道と話を聞きましたので、あれと思ったのです。もし、象潟の駅でお出迎え、お見送りをすることがございましたら婦人会の方にいつでも声をかけて頂ければ、協力します。婦人会は皆高齢者になってはいますけれども皆さん笑顔でお出迎え、お見送りしますので、どうぞいつでもご利用して下さい。支店長さんにどうやってお礼の言葉を言ったらいいのかなと思っていたのですが、どうぞよろしくお伝えして下さい。ありがとうございます。</p>
本田会長	その他、何かありませんでしょうか。
佐々木委員	<p>さっき合同タクシーさんからの話がありましたけれども、バスの中でも交差点とか踏切前では停まることはできませんと大きくチラシを入れた方が良いのではないかと思います。やはり停まってくれと言っても停まれないと思います。個人も運転手も同じだと思います。公共交通は良いです、私たちはダメです、はないと思いますので、年寄でも分かるように大きいチラシにして、この近辺では停まれません、いくら歩くのが嫌でもそれだけは無理かなと思います。</p>
本田会長	<p>はい、今のご意見でしたけれども、バスの中に貼るスペースとか色々また確保しなければいけないとかあるかと思っています。あとは個別に先程ありましたPRのチラシを配るとか、方法は何通りか考えられると思いますが、掲示をする方法も含めて市の方と事務局とご相談させて頂くということによろしいでしょうか。</p>
齊藤副会長	<p>恐らくそれを言っているのは、ある一定の人だと思うんだけどもそうじゃないですか。</p>

<p>須藤委員(象潟合同タクシー)</p>	<p>7月にコース変更なって、以前から利用されたお客様が、新しく乗車されるお客様とやはり車内で仲良くなるじゃないですか。そうするとコミュニティバスというのはこういうものだよということを教えてくれていると思いますが、その教え方が独特のようで。</p>
<p>齊藤副会長</p>	<p>はい、分かりました。</p>
<p>本田会長</p>	<p>そうですね、正しいルールを普及していくということも市としては必要だと思いますので、またご相談させて頂きたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。他になければ事務局の方から連絡等何かあれば。</p> <p>無いようですので、これで第2回目の地域公共交通活性化協議会を終了したいと思います。大変お忙しいところありがとうございました。お帰りは十分気をつけてお帰り下さい。どうもご出席頂きまして大変ありがとうございました。</p>

(午後2時38分閉会)